



# 佐土原ロータリークラブ週報



会長：林 厚雄  
副会長：岩切正司  
幹事：藤堂孝一

会計：柳田光寛  
会報委員長：宮原建樹

2004-2005年度R1テーマ

第865回 平成16年12月22日(水)

## 本日のプログラム

1. 点 鐘
2. 食事の時間
3. ロータリーソング  
「それでおロータリー」
4. 四つのテストの唱和
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 委員会報告
8. 年次総会鐘
9. 点 鐘

創始時の会員は次の4名あります。

ポール・P・ハリス	弁護士
シルベスター・シール	石炭商
ハイラム・E・ショーレ	洋服屋
ガスターバス・ロア	鉱山技師

第2回目の例会は、2週間後の3月9日にポールの事務所で新会員2名を加えて開催し役員を次の通り決めました。

初代会長	シルベスター・シール	石炭商
記録担当幹事	ハイラム・ショーレ	洋服屋
通信担当幹事	ウイリアム・ジェンソン	不動産業
会計	ハリー・ラグラス	印刷業

次回には、会員を増やすために各人の友人を連れてくるよう話し合いました。その後、ロータリーの理想は、全世界に拡大し浸透していきました。

ポールの思想は、「与えんとする心」であつて、「受けんとする心」ではないからです。ポールの、あたかも聖者にも似つかわしい人柄に人々が敬愛の念を抱き、その奉仕を唯一の旨とする活動に共鳴せんと人々が毎に賛えていき、シカゴ・ロータリークラブはこの年に早くも100名に達しました。しかし他方、ロータリーは会員お互いの友誼を深めること(発足当時)を目的としていることを、誤解して自分の収益を上げるために入会すれば、会員たちの援助で手取り早く収益が増加するのを期待して入会した人達は、期待はずれとなつて退会していました。

第3回目の例会は3月23日会長の石炭置場で開きました。この日も1名が入会し、会長が石炭業界の話を初めての卓話を行されました。クラブの名称をロータリークラブとつけるのもこの日だったようです。

例会は会員の事務所等を持ち回りで開いていましたが、第8回目からホテルで食事をとりながら開くことになりました。(毎例会食事をとるようになったのは1909年頃からと言われています)

その後、ロータリーの歌を歌われるようになり、1906年には定款、細則、綱領の制定、また徽章を車輪のマークに決めたものこの頃だったようです。1907年には社会奉仕第1号であるシカゴ市役所の屋外に公衆便所を建てました。これは現在も同じ場所にあって、シカゴ市民に喜ばれています。

第864回の記録 平成16年12月15日(水)

☆会長の時間 会長 林 厚雄君

年の瀬、忘年会も今週末が最後のピークになるのではないかでしょうか。私も先の月曜日と火曜日の2日間、宮崎市内の通称ニシタチに行きました。2日間とも、普段の平日と違って人出が多くてやはり年末でしょうか。スナックのママさんが言うには、先週の週末は時間帯ではタクシーを呼んでも30分以上しないと来ない状態があったそうです。

さて、皆様もご存知通り、先日の13日佐土原町が宮崎市に吸収合併する協定調印式が行われました。平成18年1月1日を期に両市町合併して34万人の新市が誕生することになります。合併をしてプラスになる方、マイナスになる方、それぞれいらっしゃると思いますが、これも時代の流れなのかな~

今日は、ロータリーの歴史の第5回目をお話致します。

ロータリーの創始

1905年2月23日その記念する日、ポールの顧客である石灰商のシルベスター・シールとレストラン「マダム・ガリ」で夕食を共にしました。ここで我々二人だけでなく、更に二人位賛同者を募ろうと言う事で、ポールの顧客の二人を選んで、シカゴ市にある16階建てのユニティービルディングの711号室にあるガスターバス・ロアの事務所でわずか4名の会員で世界最初のロータリーの創立例会が行われました。

例会場：石崎浜荘 0985-73-1913 事務局：〒880-0303 宮崎郡佐土原町東上那珂10255

齊藤美喜代

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 TEL: 0985-30-5766 FAX: 0985-30-5788

